

2013年3月22日

各位

**キナーゼを標的とした創薬研究に関する
共同研究契約締結のお知らせ**

ラクオリア創薬株式会社（代表取締役社長：谷 直樹、本社：愛知県知多郡武豊町、以下、ラクオリア創薬）とカルナバイオサイエンス株式会社（代表取締役社長：吉野 公一郎、本社：神戸市中央区、以下、カルナバイオサイエンス）は、特定のキナーゼ（注）を標的とした創薬研究に関する共同研究契約を締結しましたのでお知らせいたします。

両社は今後、ラクオリア創薬のハイスループットスクリーニング技術および創薬研究全般に関する独自の技術ノウハウと、カルナバイオサイエンスのキナーゼ領域における創薬基盤技術とを融合し、画期的な新薬の創出を目指して共同で取り組みます。なお本契約により創出された新薬の権利および製薬企業等へのライセンスアウト等により得られる収益は、ラクオリア創薬とカルナバイオサイエンスの両社で共有いたします。

（注）キナーゼについて：

キナーゼとは、ATP（アデノシン3リン酸）からリン酸基を基質に転移する（リン酸化する）酵素の総称です。細胞の増殖や分化、代謝調節、免疫応答等は、キナーゼによるシグナル伝達の調節機能が大きく関わっており、さまざまな疾患との関わりも多いとされていることから、創薬の標的分子として注目されています。

ラクオリア創薬について：

ラクオリア創薬は、最先端の科学技術を活用し、医療分野においてニーズの高い疾患領域での新たな医薬品を生み出すことを目指す、研究開発型の創薬企業です。独自のオープン・コラボレーションから革新的な新薬の種となる開発化合物を創り出し、製薬企業等へのライセンスアウトを通して、真に価値ある新たな治療薬を患者さんに届けます。

カルナバイオサイエンスについて：

カルナバイオサイエンスは、長年培ったキナーゼタンパク質に係る創薬基盤技術を駆使し、ガン、免疫炎症疾患、神経変性疾患などの未だ有効な治療方法が確立されていないアンメット・メディカル・ニーズが高い疾患を中心に、画期的な経口のキナーゼ阻害剤の創製研究を行うとともに、これら創薬基盤技術を用いて、製薬企業等における創薬研究を支援しています。

以上

本件に関するお問い合わせ

ラクオリア創薬株式会社
執行役員創薬研究担当 渡邊 修造
電話： 0569-84-0700
FAX： 0569-74-1381
E-mail：ask@raqualia.com

カルナバイオサイエンス株式会社
取締役経営管理本部長 相川 法男
電話： 078-302-7075
FAX： 078-302-6665
E-mail：ir-team@carnabio.com